

「再生委員会」活動終了のご報告

2013年8月31日をもって東海テレビ放送再生委員会は活動を終了し解散しましたので、皆さまにご報告申し上げます。

2011年8月4日の「ぴーかんテレビ不適切テロップ問題」を受け発足した東海テレビ放送再生委員会は、同問題の再発防止策を検討するとともに、「放送倫理の徹底と放送人教育」、「コミュニケーションの活性化」、「コンプライアンス体制の充実」など、再生に向けた提言を盛り込んだ「答申書」に基づき、東海テレビの取り組みをチェックしてきました。

2013年8月21日に開催された第20回委員会では、「答申に基づく取り組みは一定程度進んでおり、『東海テレビの再生の道筋をつける』という委員会の役割は果たすことができた」として、8月末での委員会の活動終了と解散が決議されました。これを受け8月28日、東海テレビに「再生委員会委員長総括」を提出しました。

また「再生委員会が役割を終え解散した後は、オンブズ東海に全面的にチェック機能を移管する」とする答申書の提言に基づき、同日、再生委員会とオンブズ東海との間で業務の引き継ぎを行いました。同時にオンブズ東海には、今後より一層、東海テレビの取り組みを冷静に、そして厳しく見守っていただくようお願い申し上げます。

2011年8月31日に発足した再生委員会は活動期間2年、委員会の開催回数20回で区切りをつけることになりました。今後は東海テレビの全ての関係者が、再生委員会の考え方を受け継ぎ、当事者意識を持って仕事に取り組んでもらいたいと思います。

2013年8月31日
東海テレビ放送再生委員会
委員長 音好宏